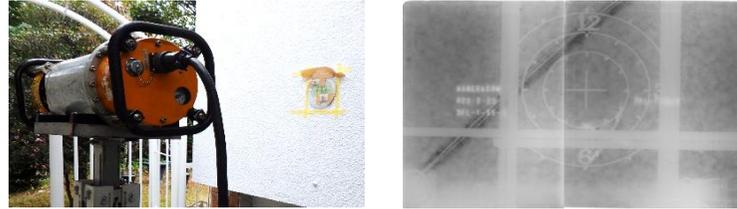


躯体埋設物調査（既存配管を見つけて、損傷を防ぎたい）

◆X線

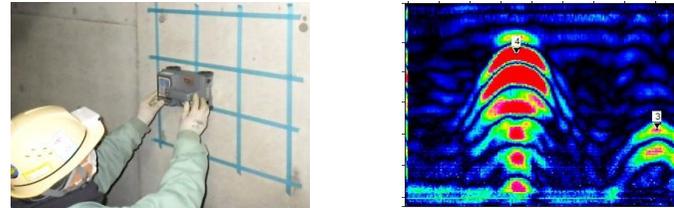
• 放射線透過試験



対象物の反対面に設置したX線フィルムに映像を写し込ませる。
メリット：内部が可視化出来るので、なんといっても分かりやすい。
デメリット：被曝する。1回で写る範囲が狭い(A4の紙程度)。

◆レーダ

• 鉄筋探査機



反射してくるレーダ波形から埋設物を推定する。
メリット：片面から探査可能簡便、比較的広範囲
デメリット：塩ビ管の検出率が悪い。鉄筋より下にあると検出率が落ちる。

◆電波

• パイプロケータ



電気配線からの漏洩電波に反応する事が経験的に知られている。受信レベルの強弱で電気配線を判断する。
メリット：比較的広範囲。
デメリット：分解能が粗く、電気配管が近接していると区別が出来ない。

◆磁場

• 漏洩磁場探知機



電気配線からの漏洩磁場に反応する装置。磁場なのでモーターに強く反応する。
メリット：簡便、広範囲。
デメリット：弱電に反応しない。